

作新学院中等部同窓会報

題字 斎藤 瑞樹(第58回卒)

発行 作新学院中等部同窓会 〒320-8525 宇都宮市一の沢 1-1-41 作新学院中等部内 宇井 肇 TEL028-647-4571 FAX647-2476



未来へ繋がる出会いの場

同窓会長 宇井 肇(第16回卒)

同窓生の皆様におかれましては、ますますご健勝のこととお慶び申し上げます。平素より作新学院中等部同窓会の活動や運営に関しまして、ご理解とご協力をいただき、心より御礼申し上げます。

さて、今年作新学院は創立140周年という大きな節目の年を迎えるとのこと、誠におめでとうございます。中等部も創立78周年となり、再来年には80年という節目の年を迎えます。長い歴史を紡いでこられたということは、作新学院の教育の柱である「一校一家」の精神が、多くの人々に浸透しているということに繋がります。誠に喜ばしいことと思います。

中等部生だった頃の私自身のことを振り返ってみますと、柔道に打ち込んでいた日々を送ってありました。高等部で高校生と一緒に練習させてもらうなど、中学・高校という垣根を越えて切磋琢磨する「一校一家」を体感してきました。「打ち込む」とことと「一校一家」が今の自分の根幹になっていると思っております。若い時に熱心に打ち込んだという経験があれば、その後の人生を豊かにしてくれます。その若い時がまさに中等部時代ではないでしょうか。中等部生の活躍の応援を同窓会で担っていきたいと考えています。

未来に繋がる出会いの場、中等部において様々な経験を積んだ若者たちが、自分の打ち込んだものを軸として地域に貢献し、また日本のために。あるいは世界へと羽ばたき、大いに活躍してくれることを願っております。今後とも同窓会の活動へのご協力をよろしくお願い申し上げます。



御 挨 拶

中等部長 大 川 直 邦

宇井肇会長様をはじめ、同窓会の皆様方におかれましては、平素より本校の教育活動に対し、深いご理解と多大なるご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。会報の発行に際し、ご挨拶を申し上げる機会を頂きましたことに、心より感謝申し上げます。

私は、令和六年度より作新学院中等部長を拝命いたしました大川直邦と申します。これまで栃木県内の複数の高等学校において教鞭を執り、教育行政ならびに管理職としての職責を経験してまいりました。これらの経験を本校において存分に活かし、伝統ある中等部のさらなる発展、並びに次代を担う人材の育成に尽力する所存でございます。着任以来一年余を経て、本校が創立七十八年の長きにわたり築いてきた歴史や、同窓生の各方面におけるご活躍、ならびに確かな進路実績等を通じて、中等部の真価を再認識するとともに、部長としての責務の重大さを日々痛感しております。

現在、中等部におきましては、生徒の安全と安心を最優先に掲げ、いじめや不登校への未然防止・早期対応、感染症対策、施設・設備の保守点検等に着実に取り組んでおります。また、保護者・同窓会の皆様との連携を大切にしながら、「確かな学力の育成」を中核に据え、「知・徳・体・食」の四育を調和的に涵養することで、生徒一人ひとりの“生きる力”の育成に努めております。

「未来につながる出会いがある」という理念のもと、授業や学級活動はもとより、各種行事、地域貢献、部活動を通じて多様な経験を提供し、「夢を育み、志へと高めさせ、その実現を図る」ことを目標に、教職員一同、日々邁進しております。

今年度は、新たな教育環境の整備の一環として、クラウド型学習支援ツール「Classi（クラッシー）」を導入いたしました。これにより、授業支援や面談資料、学習ポートフォリオの蓄積に加え、学校・生徒・保護者間の連絡手段としても活用が進んでおります。特に、教員の支援の下、生徒が自律的に学びを進める「ラーニングサイクル」と、教員がその様子を把握し適切に支援する「コーチングサイクル」を併用することで、学習効果の一層の向上が期待されております。あわせて、欠席連絡や通知配信等も可能となり、時間や場所に縛られない円滑な情報共有が実現いたしました。

次に、生徒たちの成果の一端をご報告申し上げます。本校生徒は、学業を中心に据えながら、行事や部活動等にも積極的に参画し、「二兎を追う者こそ二兎を得る」という精神を体現しております。進学面では、作新学院高校トップ英進部へ47名、英進部へ71名、宇都宮高校へ21名、宇都宮女子高校へ13名が合格し、他にも東京学芸大学附属、早稲田本庄、洛南高校等への合格も果たしております。

また、部活動も大変活発であり、野球部が3年連続で全日本少年軟式野球大会全国大会出場、水泳部からは25名、柔道2名が県大会へ進出、ゴルフ競技では延べ4名が関東大会へ出場するなど、各方面で優れた成果を挙げております。同窓会の皆様より、こうした生徒へのご支援・ご厚情を賜っておりますことに、改めて深く感謝申し上げます。

さらに本校では、教職員が県内の小学校を訪問し、中等部の教育方針や魅力を広く紹介する活動にも力を注いでおります。

結びに、宇井会長様をはじめ、同窓会の皆様の益々のご健勝とご活躍を心よりお祈り申し上げますとともに、今後とも変わらぬご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げ、ご挨拶とさせていただきます。

中等部の星!!

◇同窓生の活躍



榎本遼香さん 2024

東京五輪でもシンクロ
板飛び込み 5 位入賞、
パリ五輪出場



橋本拓也さん 2021

令和 3 年度に文部科学
大臣表彰若手科学者賞
受賞



大嶋浩美さん 2024

とちぎ次世代の力大賞
学術・芸術・スポーツ
振興部門で優秀賞受賞



菊池徹平さん 2022

全国カデ・エペフェン
シング選手権・男子エ
ペ個人戦部門優勝

榎崎智亜さん 2024

東京五輪・パリ五輪 2 大会連続出場

室井大輔さん 2023

栃木県芸術祭美術展書道の部白鷗賞受賞

◇在校生の活躍 2024

○部活動

野球部 全国大会出場 全日本少年軟式野球大会（横浜スタジアム：8月）



水泳部 関東大会出場



ゴルフ 全国大会出場



鄭 顕羽さん

かるた 全国大会出場



大垣 漣さん 石川 舞さん

運動会



クリスマス礼拝



修学旅行



宿泊体験学習

2年 東北方面震災学習

1年ブリティッシュ英語研修



◇令和6年度卒業生進学先一覧

令和7年3月31日現在

作新学院高等学校 74名

トップ英進部 14名

英進部 40名

総合進学部 20名

栃木県立高等学校 63名

宇都宮高等学校 21名

宇都宮女子高等学校 13名

宇都宮中央高等学校 1名

宇都宮東高等学校 1 名

宇都宮北高等学校

栃木高等学校 7名

栃木女子高等学校 4名

石橋高等学校 5名 ほか

小山工業高等専門学校 2 名

県外私立公立高等学校 10名

学芸大附属高等学校 1 名

明治学院高等学校 1 名

早稻田大学本庄高等学院 1 名

秀明高等学校 2名

京都府立嵯峨野高等学校 1 名

洛南高等学校 1 名 ほか